

咀嚼計「bitescan（バイトスキャン）」を活用した食育プロジェクトを市立小学校で展開

## 大阪府八尾市と市民の健康づくり等の推進に係る 連携・協力に関する協定を締結



「bitescan」を活用した市立小学校での食育プロジェクトの様子

シャープは、大阪府八尾市（市長：大松桂右）と八尾市民の健康づくり等に関する取り組みを共同で推進するため、「八尾市民の健康づくり等の推進に係る連携・協力に関する協定」を本日締結しました。今後、（1）市民の健康づくり、（2）健康寿命の延伸、（3）健康コミュニティづくり、の3つのテーマに基づき、両者でさまざまな取り組みを実施してまいります。

協定締結に先立ち、昨年12月に当社の「非接触バイタルセンシング技術」による生体データ（脈拍など）の取得実験を試行しました。今回、初めて八尾市民を対象とした取り組みとして、当社が開発したウェアラブルタイプの咀嚼計「bitescan」を使い、市立小学校の児童を対象に咀嚼行動を可視化し、よく噛むことを習慣化する食育プロジェクトを順次展開します。

また、今後は当社の技術やデジタルヘルスケア機器などを活用し、八尾市民の健康増進につながる活動や情報提供、健康コミュニティづくりの推進に寄与してまいります。さらに、「bitescan」を活用した食育プロジェクトを全国の自治体でも実施し、「よく噛むことの習慣化による健康づくり」の拡大をめざしてまいります。

### ■ 咀嚼計「bitescan」を活用した食育プロジェクト概要

名 称	概 要	対 象 者	期 間
「bitescan」を活用した食育プロジェクト	・咀嚼行動の可視化による健康意識向上 ・給食で噛む回数や食事時間、姿勢などを計測し、食育レポートとしてフィードバック	八尾市立小学校の児童	1月25日より順次

● 「bitescan」「バイトスキャン」は、シャープ株式会社の登録商標です。

## ■ 咀嚼計「bitescan」

シャープが開発したウェアラブルタイプの咀嚼計で、耳にかけて「噛む」回数やテンポ、食事時間、姿勢などを計測し、連動するスマートフォンアプリで咀嚼データを可視化することが可能です。2018年から法人向けに販売しており、大学などの研究機関や食品メーカーなどで利用いただいています。

食育プロジェクトでは「bitescan」で咀嚼行動を計測し、各自の計測記録をクラス全員の平均値と比較できる食育レポートを確認することで自身の咀嚼行動や食事姿勢を客観的に理解し、「噛む」ことへの意識を高めて健康づくりに向けた行動変容を促します。



## ■ 「八尾市健康まちづくり計画／期間：2022～2028年度（令和4～10年度）」とは

八尾市民のみなさんの主体的な健康づくりを地域と行政が協働して支えるための指針です。この計画では「みんなの健康をみんなで守る市民が主役の健康づくり」を基本理念とし、「健康寿命の延伸」「健康コミュニティ※づくりの推進」を基本目標として設定し、その達成に向けて、「一人ひとりの主体的な健康づくりの推進」、「生活習慣病の発症予防と重症化予防の推進」、「市民の健康を支える地域づくりの推進」の3つの基本方針に沿って、市民のみなさんに取り組んでほしいこと、地域で進めてほしい取り組み、行政が進める取り組みをまとめています。

<https://www.city.yao.osaka.jp/0000062203.html>

※ 八尾市では、「健康コミュニティ」を、「みんなの健康をみんなで守ることをめざす集団」と定義。

本製品に関する情報は、以下のウェブサイトでもご覧いただけます。  
<https://jp.sharp/business/bitescan/>